

# 地域ネットワークニュース

～平成30年7月の勉強会のお知らせ & 6月の勉強会報告～

第246回 地域ネットワーク勉強会

脳血管障害やけが等による《高次脳機能障害》  
障害の特性と支援センターの取り組みについて

講師：山中俊広氏（支援コーディネーター）  
茨城県高次脳機能障害支援センター

7月23日(月)

午後7時～8時30分

神栖市保健・福祉会館  
2階 研修室

脳血管障害（脳出血、脳梗塞、クモ膜下出血など）や外傷によって脳がダメージを受けると、身体に残る障害とは別に、「注意が散漫になる」「怒りっぽくなる」「物覚えが悪くなる」「段取りがうまくできなくなる」「こだわりが強くなる」などの症状が現れることがあります。このような言語や記憶、注意、情緒等の認知機能に起こる障害が、高次脳機能障害です。

高次脳機能障害支援センターは、県内で唯一、当事者やご家族、関係機関等から寄せられる相談への対応や、研修会を通じて関係機関との連携を強化し、当事者が孤立しないネットワークづくりなどの包括的な取り組みをしています。

勉強会では高次脳機能障害の特性、当事者への関わり方のポイントとあわせて、支援センターの相談支援体制についてお話しいただきます。高齢者、障害福祉サービス事業所スタッフや医療機関の相談員といった高次脳機能障害者に関わる機会の多い方、当事者、そのご家族など、みなさまのご参加をお待ちしています。



会場内には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉推進センター 担当 名雪・鴨川 電話 0299-93-0294

第245回 地域ネットワーク勉強会報告

6月14日開催 実参加者38名

子どもの発達段階と発達が気になる子の理解

(午前24名 午後33名 延57名)

午前 生まれてからの生育・成長過程 午後 発達障害の種別と特性

講師：穂積妙子氏（臨床発達心理士）つくば子どもと教育相談センター代表

午前中の講義では、子どもの発達の過程の乳児期（0～1歳頃）、幼児期（1.5～6歳頃）、児童期（7～11歳頃）の段階に分けて、それぞれの発達課題に応じた子どもへの関わり方の説明がありました。たとえ自分の子どもでも、親の思うようには子どもは育たないという事実を受け止め、子どものありのままを受け入れて、気負わずに子育てを楽しむことを大切にしましょう。と伝えられました。

また午後の講義は、発達障害を大きく学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症スペクトラムに分けて、障害の特性や、乳幼児期や学齢期などの年代ごとの関わり方のポイントを説明していただき、一日を通じて子どもの発達に関して、学びの多い機会となりました。

